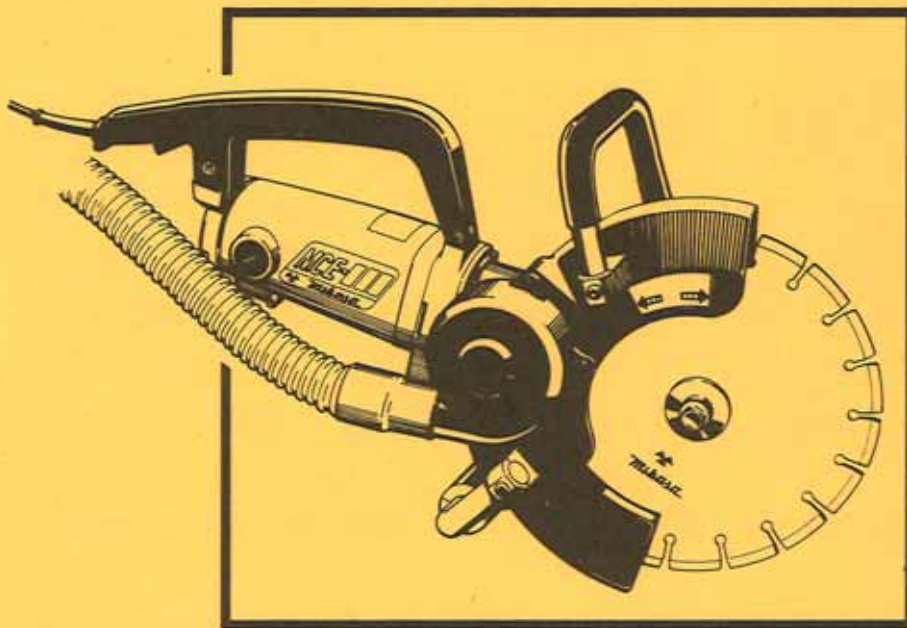


Mikasa


電動ハンドカッター

MCE 255/305

取扱説明書



この度は三笠MCE型電動ハンドカッターをお買
上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用頂く前に、この取扱説明書をよくお読みの
うえ、正しくお使いください。
取扱説明書は大切に保管し、わからないときに再
読して下さい。

 **三笠産業株式会社**

**安全な作業をして頂くため
ご使用の前に必ず次の文をお読みください。**

ご使用前は

- 取扱説明書をよくお読みいただき正しい取扱いで安全に作業してください。また機械の取扱い知識の不十分な人には使わせないでください。
- 疲れているときは作業しないでください。また機械は慎重にゆとりをもって取扱ってください。
- 機械の回転部に巻き込まれないように裾まりのよいピッタリした衣類を着用してください。
- ダイヤモンドブレードにひびや割れなどの異状がないことを確認してください。
- 機械各部の点検を行い、ネジ類のゆるみや異状個所がないか確認してください。
- スパナ、レンチ、ドライバーなどの工具類は機械から取りはずしてあるか確認してください。
- 切断用刃物は当社指定のダイヤモンドブレードをご使用ください。
本機械ではレジノイド砥石は使用できません。

ご使用中は

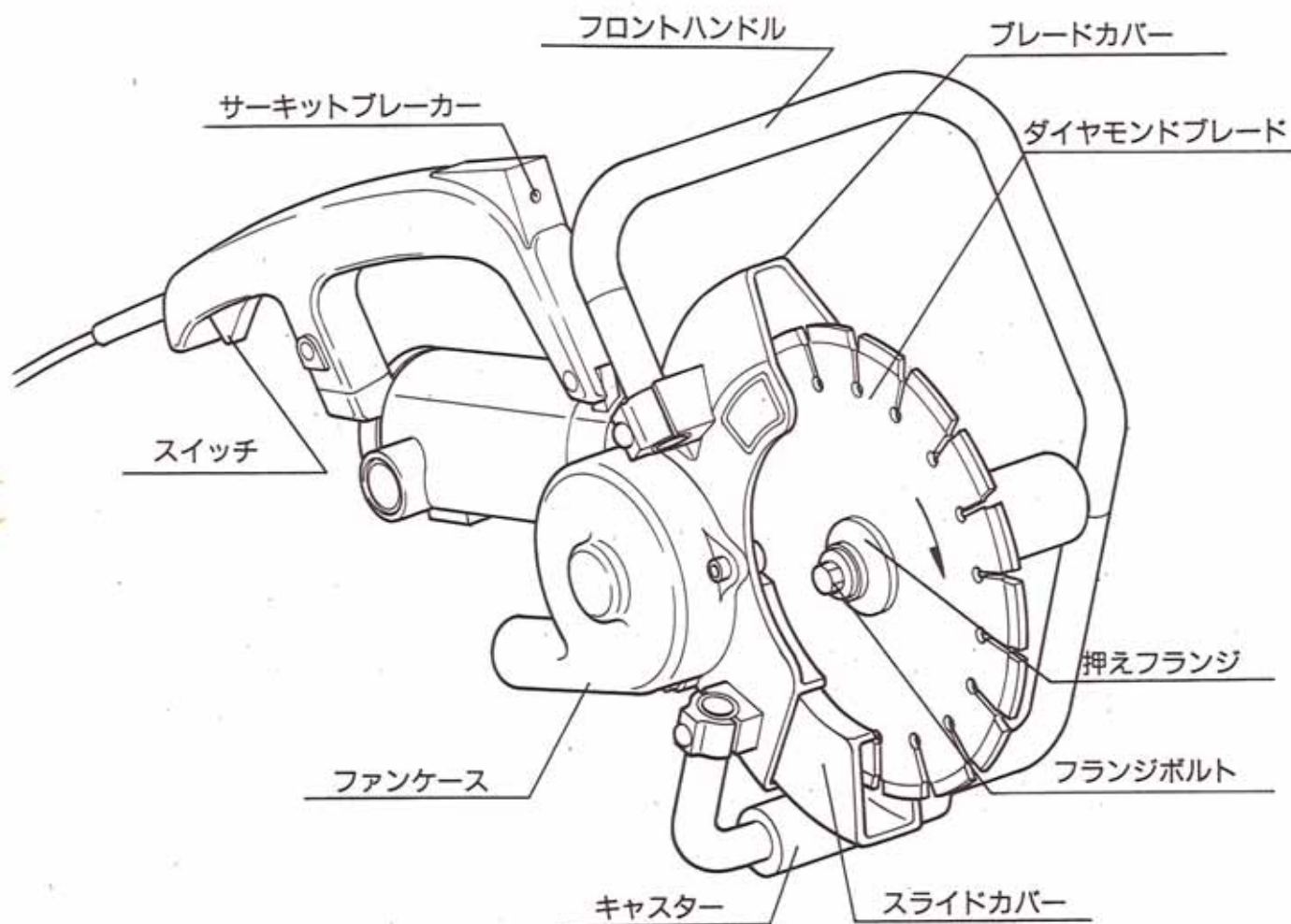
- 作業時には必ず保護メガネ、防じんマスク、作業用手袋、耳栓、保安帽、安全靴、足当てを着用してください。
- 機械は両手で確実に保持してご使用ください。またハンドル部は常に乾いた状態できれいにし、オイルなどが付いていないようにしてください。
- 常に足場に注意し、機械のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で作業してください。
- 運転中に機械の調子が悪くなったり、異状に気づいた場合は直ちに作業を中止してください。
- 機械の運転中には、刃物や他の回転部および切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- 作業中、切断火花が散りますので作業する周辺に引火性のものを置かないでください。

- 機械を移動するときや、機械を下におくときは、必ずスイッチを切ってください。
- 機械を回転させたまま放置しないでください。
- 機械を始動したり、作業するときは周囲の人や動物などに十分注意して必ず一人で（補助者なしで）操作してください。
- 切断中は機械をこじったり、強く押ししたりしないで真直ぐゆっくりと機械を進めてください。こじったり、押し過ぎたりしますと強い反発力が生じ非常に危険です。
- 刃物が回転したまま本機をもどそうとすると、強い反発力を生じ危険です。まずスイッチを切り回転が完全に止まってから本機を持ち上げるようにしてください。
- 切断刃物の側面で材料のバリ取り、研磨などは絶対にしないでください。刃物破壊の原因となります。

ご使用後は

- 機械全体を清掃してください。特に切削部、集塵装置など入念に行なってください。
- 機械各部に貼付してある銘板が、汚れ、紛失等で確認できない場合は、新品と交換してください。
- ネジ類のゆるみ、部品の破損、摩耗などは色々な故障の原因になります。点検をして完全に整備してからご使用ください。
- 長期間格納するときは、安全できれいな場所に保管してください。
- 補修部品はすべて指定の純正部品をご使用ください。

各部の名称と仕様



仕様

型式	MCE-255	MCE-305
定格電圧	100V	←
定格電流	15A	←
消費電力	1400W	←
回転数	3,200rpm	←
本体重量	9.2kg	←
全長	620mm	←
全高	380mm	←
全幅	240mm	←
使用ブレード	10" (254mm)	12" (305mm)

使用前のご注意

差し込みプラグを電源に差しこむ前に、次の事項を確認して下さい。

1. 各部の点検

ネジのゆるみ、部品の破損、ダイヤモンドブレードの亀裂等ないか確認して下さい。

2. 電源の確認

使用電圧は100Vです。200Vの電源では絶対に使用しないで下さい。

3. スイッチOFFの確認

スイッチが入ったまま、プラグを電源に差し込みますと急に起動し思わぬ事故のもとになりますので御注意下さい。

4. アース

差し込みプラグにあるアースグリップでアースをしてからプラグを差し込んで下さい。

5. 水に対する注意

水のある場所及び雨中では使用しないで下さい。

モーター内部に水が入りますと、感電、焼損の原因になります。

6. 刃物

本機はダイヤモンドブレード専用で作られています。

レジノイド砥石は絶対に使用しないで下さい。

7. 延長コードの使用

長い延長コードの使用は、モーターの出力が低下します。

延長コードはできるだけ短くしてご使用下さい。

御使用方法

1. ダイヤモンドブレードの取り付け、取りはずし

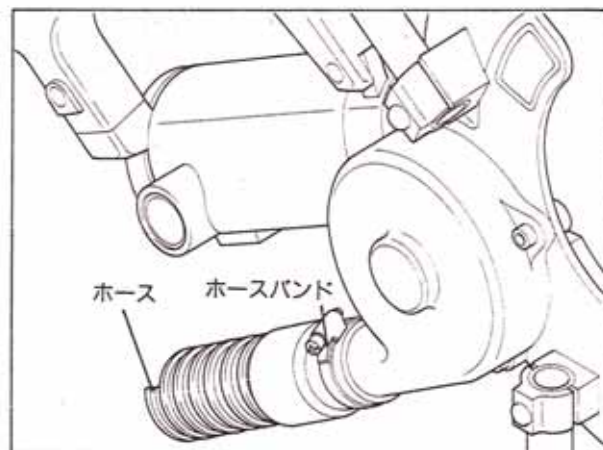
出力軸に、受けフランジ、ダイヤモンドブレード、押えフランジの順に、はめ込んで下さい。押えフランジにスパナ26mmをかけ、フランジボルトをスパナ17mmで締め付けて下さい。

フランジボルトは左ネジとなっておりますので、ブレードを取り付ける場合は反時計回り、取りはずす場合は時計回りにフランジボルトを回して下さい。

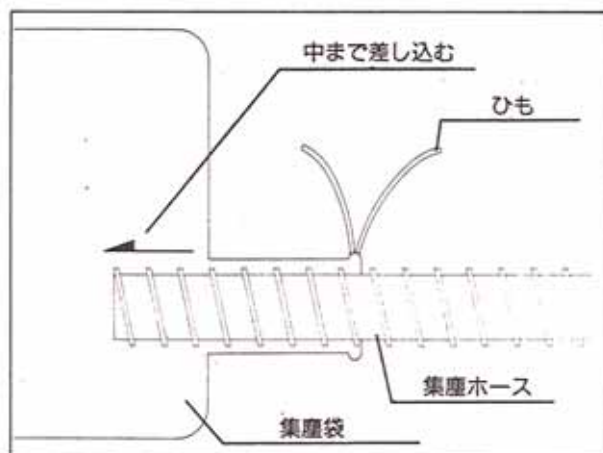
注意 ダイヤモンドブレードの取り付け、取りはずしをする時は、必ずプラグを電源から抜いて下さい。

2. 集塵ホース、集塵袋のセット

2-1 集塵ホースの差し込み側をファンケースに差し込み、付属のホースバンドで締め付けて下さい。



2-2 集塵ホースの排出側を集塵袋の中まで差し込み、ひもで縛って下さい。
集塵袋は中を掃除し、乾いたきれいな状態にして使用して下さい。



3. 切 削

- 3-1 ダイヤモンドブレードを切削面からはなした状態でスイッチを入れて下さい。連続使用する場合はスイッチを引いたまま、スイッチ横のロックボタンを押して下さい。スイッチから指を離してもモーターは回転を続けます。再度スイッチを引くとロックボタンが外れます。
- 3-2 切断面にブレードを強く押し付けしないで、モーターの回転を維持する様に切削して下さい。強く押し付けますと回転が下がり、かえって切れ味が悪くなります。又、モーター故障の原因ともなります。
- 3-3 吸塵装置は、ブレードカバー内側についておりますので、スライドカバーを切削面に当てる様にして切り込んで下さい。

4. モーター保護装置（サーキットブレーカー）

- 4-1 モーターの焼損防止の為、過負荷がかかりますと、サーキットブレーカーが作動し、モーター回転が停止します。
サーキットブレーカーが作動しますと黄色のボタンが出ます。
スイッチを切った状態でサーキットブレーカーのボタンを押して下さい。

注意 サーキットブレーカーのボタンを押す前には必ずスイッチを切って下さい。



- 4-2 強く押し付けて切削しますと、サーキットブレーカーが頻繁に作動します。
モーターの能力を十分に発揮させる為に、サーキットブレーカーが作動しない作業を心掛けて下さい。

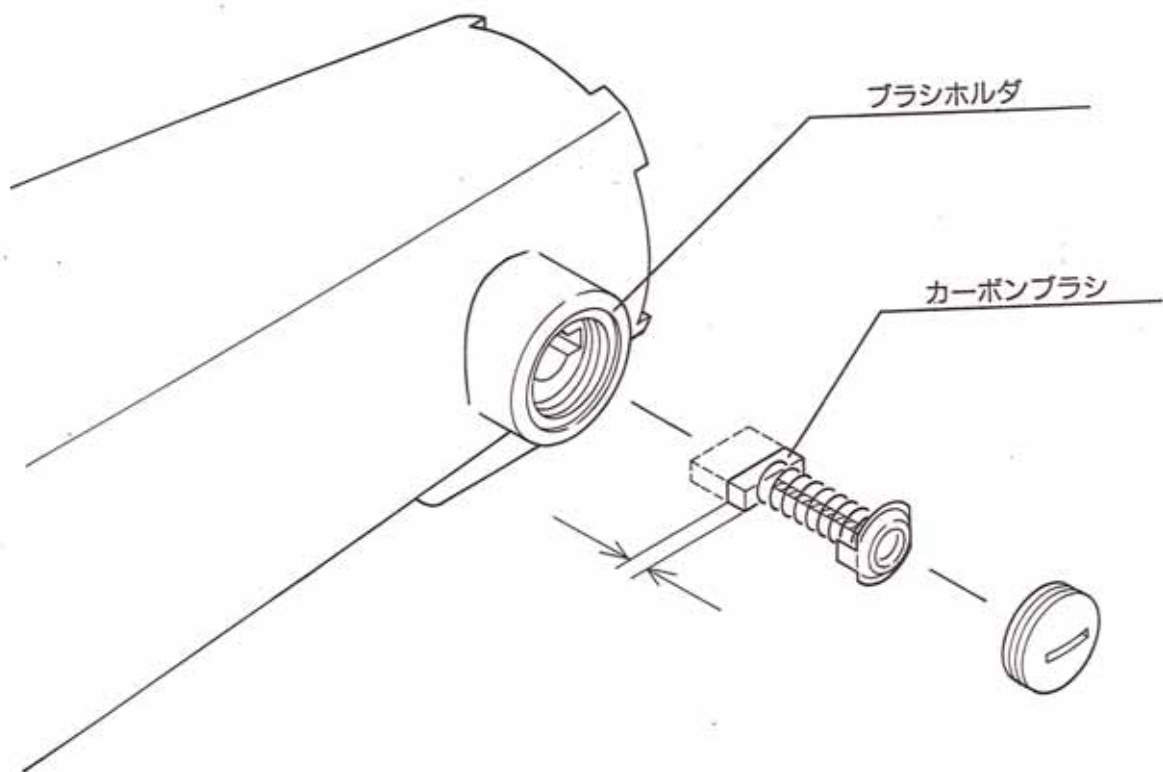
※点検・整備をするときは、プラグを電源から外してから、行ってください。

1. カーボンブラシの交換

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーター故障の原因となります。

長さが6mm位になりましたら新品と交換してください。

また、ブラシホルダ内のゴミ等を取り除いてきれいにして組み込んで下さい。



2. 集塵袋の掃除

集塵袋は目づまりを起こしますと、集塵能力が低下しますので、ご使用の都度掃除して下さい。

故障とお考えになる前に

(作業中のトラブルと対策)

状 況	原 因	対 策
モーターが回転しない	1)サーキットブレーカーが作動している	ハンドル前部のボタンを押す
切削能力が落ちた	1)ブレードの摩耗	ブレードを新品に交換する
	2)ダイヤがブレードの表面に出ていない	ブレードの目だしをする (*)
集塵しない	1)ホースが袋に入っていない	ホースを袋の中まで差し込む
	2)集塵袋の目づまり	集塵袋を掃除する
	3)集塵ホースのつまり	集塵ホースを掃除する
	4)ブレードカバー内側に泥等がつまっている	ブレードカバーを掃除する
ブレーカーが頻繁に作動する	1)負荷のかけすぎ	回転を維持する様に切削する
	2)発電機の容量不足	発電機出力2KVA以上必要
	3)電圧のドロップ	延長コードはできるだけ短くする
	4)モーターの加熱	5分間置いて冷却する

※目だし……ブレードを荒目のGC又はC砥石で目立てをするか、ブロック等軟らかい物を切削する。



MIKASA SANGYO CO., LTD.

HEAD OFFICE

No.4-3, Sarugakucho 1-chome,
Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0064,
Japan



三笠産業株式会社

本 社 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1丁目4番3号
電話 03-3292-1411 FAX 03-3233-0530
大 阪 支 店 〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目3番10号
電話 06-6541-9631 FAX 06-6541-9660
札 幌 営 業 所 〒003-0030 札幌市白石区流通センター6丁目1番48号
電話 011-892-6920 FAX 011-892-6344
仙 台 営 業 所 〒984-0015 仙台市若林区卸町5丁目1番16号
電話 022-238-1521 FAX 022-238-0331
北 関 東 営 業 所 〒374-0042 館林市近藤町178番地
電話 0276-74-6452 FAX 03-3233-0530
中 部 営 業 所 〒453-0014 名古屋市東区則武1丁目9番4号
電話 052-451-7191 FAX 052-451-0315
中 国 営 業 所 〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目45番11号
電話 082-875-8561 FAX 082-875-8560
九 州 営 業 所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南5丁目22番5号
電話 092-431-5523 FAX 092-431-5707

《出張所》

・新潟 ・長野 ・金沢 ・四国 ・南九州 ・沖縄

《部品サービスセンター》

〒344-0053 春日部市緑町3丁目4番39号
部 品 課 電話 048-734-2401 FAX 048-736-6787
サ ー ビ ス 課 電話 048-734-2402 FAX 048-734-7678

・館林物流センター ・技術研究所 ・館林工場 ・春日部工場